

# 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程 学生募集要項

2027年度春入学

博士前期課程

一 般 選 抜  
社 会 人 特 別 選 抜  
学 部 特 別 選 抜

博士後期課程

一 般 選 抜  
博 士 前 期 課 程 特 別 選 抜



入学者選抜について対応を変更する等がある場合は、以下のWebサイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学入試情報サイト

<https://www.omu.ac.jp/admissions/g/>



2026年5月  
大阪公立大学



# 目次

## 博士前期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
〔1〕 募集人員	3
〔2〕 出願資格	4
〔3〕 研究領域等についての事前相談	6
〔4〕 出願手続	6
〔5〕 入学者選抜方法	11
〔6〕 合格者発表等	13
〔7〕 入学手続	14
〔8〕 学費（入学科・授業料）	14
〔9〕 経済支援制度について	16
〔10〕 長期履修制度	16
〔11〕 その他	17
〔12〕 出願資格審査	19
看護学研究科博士前期課程の概要	21
看護学研究科博士前期課程 担当教員一覧・問合せ先	26

## 博士後期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	28
〔1〕 募集人員	29
〔2〕 出願資格	29
〔3〕 研究領域等についての事前相談	30
〔4〕 出願手続	31
〔5〕 入学者選抜方法	36
〔6〕 合格者発表等	37
〔7〕 入学手続	38
〔8〕 学費（入学料・授業料）	38
〔9〕 経済支援制度について	40
〔10〕 長期履修制度	40
〔11〕 その他	41
〔12〕 出願資格審査	43
看護学研究科博士後期課程の概要	45
看護学研究科博士後期課程 担当教員一覧・問合せ先	49
本学所定様式	50
交通アクセス・問合せ先	巻末

# 博士前期課程

## ●博士前期課程

博士前期課程は、生命と人権の尊重を基盤として、看護に求められる社会的使命を遂行し、看護学を実践的・創造的に発展させ、地域社会及び国際社会のあらゆる健康レベルの人々に貢献できる高度な看護分野の実践者、管理者、教育者、研究者を育成することを目指しています。

したがって、本研究科の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、次の能力や適性を身につけた学生を求めています。

### 【能力】

- ・英語論文を読解できる基礎的語学力を有する人
- ・論理的思考を表現する能力を有する人
- ・豊かな人間性と倫理観を備え、人々と協働できる人
- ・看護学の基礎知識と総合的な学力を有する人

### 【意欲】

- ・保健医療福祉におけるニーズや課題を探求する意欲を有する人
- ・みずからの将来を見据え、主体的に学ぶ姿勢と、研究を遂行する意欲を有する人
- ・看護に関わる事象を分析し、看護実践の質向上と改革を推進する意欲を有する人

### 【志向】

- ・修士論文コースでは研究科の教育目的や教育目標を理解し、学術志向性を有する人
- ・看護に関わる事象の変革に寄与できるエビデンスを構築するために現象に真摯に向き合い、理論的に考え探究する人
- ・高度専門職業人として、医療施設、行政、社会福祉施設、地域などにおいて、看護実践、看護教育、並びに看護学の発展に貢献する志向を有している人
- ・看護実践の変革のための研究者、実践家になるために目的意識を持って主体的に学び、地道な努力を重ねることができる人

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下を確認してください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>

## 〔1〕 募集人員

専攻	入学定員	募集人員 (第1次募集・第2次募集)
看護学	50名	50名

注 募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜、学部特別選抜、助産師資格取得プログラム6名（女子のみ）及び保健師資格取得プログラム10名を含みます。

選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合や募集人員よりも多くなる場合があります。

第2次募集実施の有無については、2026年9月下旬に本学Webサイトでお知らせします。なお、助産師資格取得プログラムならびに保健師資格取得プログラムについては、第2次募集は実施しません。

([https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/gs\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs/))

## 領域・分野

「修士論文コース」と「実践看護研究コース」を開設しています。

「修士論文コース」は一般選抜、社会人特別選抜及び学部特別選抜を実施します。

「修士論文コース」のうち、母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】、地域看護学【保健師資格取得プログラム】、ヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】は、一般選抜のみ実施します。

「実践看護研究コース」は、一般選抜のみ実施します。

領域	分野	修士論文コース	実践看護研究コース
基幹革新 看護学	看護技術学	○	
	看護情報学	○	
	看護管理学	○	○
	看護教育学	○	○
	健康基礎科学	○	
臨床革新 看護学	急性看護学	○	○
	がん包括ケア科学	○	○
	慢性看護学	○	○
	感染看護学	○	○
	精神看護学	○	○
	小児看護学	○	○
	子ども・家族ケア科学	○	
	家族看護学	○	○
	母性看護・助産学	○	
	母性看護・助産学 【助産師資格取得プログラム】	○	
ウィメンズヘルスケア科学	○		

地域革新 看護学	老年看護学	○	○
	在学看護学	○	○
	地域包括ケア科学	○	
	地域看護学	○	
	地域看護学 【保健師資格取得プログラム】	○	
	ヘルスプロモーションケア科学	○	
	ヘルスプロモーションケア科学 【保健師資格取得プログラム】	○	

※学びのキャンパスは、阿倍野キャンパスとなります。

※保健師資格取得プログラムは、「地域看護学」、「ヘルスプロモーションケア科学」の修士論文コースから受講が可能となります。合格者は両方の受験者から成績順に決定するため、出願時に志望した分野にならないことがあります。

## 博士前期課程修了後に取得できる資格

取得できる資格	要件	資格の種類
保健師国家試験受験資格	地域看護学【保健師資格取得プログラム】もしくはヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】において所定の単位を取得	国家資格
助産師国家試験受験資格	母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】において所定の単位を取得	国家資格
受胎調節実地指導員申請資格	母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】において所定の単位を取得	国家資格
専門看護師認定審査受審資格 がん看護、慢性疾患看護、小児看護、老人看護、精神看護、家族支援、感染症看護、急性・重症患者看護、在宅看護	実践看護研究コースにおいて所定の単位を取得	公益社団法人 日本看護協会認定資格
認定看護管理者認定審査受審資格	所定の単位を修得し、看護管理学分野を修了 分野を問わず全ての修士論文コース・実践看護研究コースにおいて所定の単位を取得（管理に関連する単位取得要）	公益社団法人 日本看護協会認定資格

## 〔2〕出願資格

### 【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日現在において22歳以上のもの

注1 出願資格(9)から(10)により出願しようとする者は、出願前に「[12] 出願資格審査」を受ける必要があります。

注2 出願資格(10)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者であっても、本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものです。

注3 助産師資格取得プログラムの受講者は、母性看護・助産学 助産師資格取得プログラムに出願し合格した者に限ります。入学手続完了後、コース変更等により同プログラムを受講することは認められません。

注4 保健師資格取得プログラムの受講者は、地域看護学【保健師資格取得プログラム】ならびにヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】に出願し合格した者に限ります。入学手続完了後、コース変更等により同プログラムを受講することは認められません。

#### 【一般選抜】(助産師資格取得プログラム及び保健師資格取得プログラム)

一般選抜(助産師資格取得プログラム及び保健師資格取得プログラム)に出願することのできる者は、前記の出願資格(1)から(10)のいずれかに該当する者で、**看護師免許を有する者(2027年3月31日までに取得見込みの者を含む。)**。

なお、助産師資格取得プログラムについては、助産師免許を有する者(2027年3月31日までに取得見込みの者を含む。)ならびに保健師資格取得プログラムについては、保健師免許を有する者(2027年3月31日

までに取得見込みの者を含む。) は、出願することができません。

#### 【社会人特別選抜】

社会人特別選抜に出願することのできる者は、前記【一般選抜】の出願資格(1)から(8)のいずれかに該当する者で、同資格取得後、通算3年以上(2027年3月31日までの見込みを含む。)の実務経験を有し、かつ本研究科の趣旨に合致した研究課題を持ち、意欲的に学ぶ姿勢がある者。

注 実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験を指します。

#### 【学部特別選抜】

学部特別選抜に出願することのできる者は、大阪公立大学看護学部看護学科を2027年3月に卒業見込みの者で、2025年度後期までのGPAが2.5以上の者。

### 〔3〕研究領域等についての事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要です。出願前に希望する研究指導教員に必ず相談して事前面談を受けてください。

なお、研究分野・領域及び指導教員名は「看護学研究科博士前期課程担当教員一覧・問合せ先」(26ページ)を参照し、指導教員への連絡は直接メールで行ってください。

事前面談後、事前面談を受けた教員から事前面談確認書(本学所定の様式)の所定欄に、署名を受けてください。事前面談確認書は出願する場合に必要となります。

### 〔4〕出願手続

出願手続は、インターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

#### 1 出願期間

	第1次募集	第2次募集
インターネット 出願登録期間	2026年7月3日(金)10:00～ 2026年7月15日(水)17:00	2026年11月6日(金)10:00～ 2026年11月11日(水)17:00
出願書類 提出期間	2026年7月9日(木)～ 2026年7月15日(水) <7月15日までの消印有効>	2026年11月9日(月)～ 2026年11月11日(水) <11月11日までの消印有効>

(※) 出願書類は簡易書留郵便により郵送してください。本学に直接持参しても受理できません。

#### 2 出願方法

次のstep1～step6の手順で出願を行ってください。

**step 1** ●事前準備

パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
印刷環境	・郵送が必要な書類を A4 サイズの白の用紙で印刷します。
メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jp を受信可能なドメインとして設定してください。
出願に必要な書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願期間の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。
出願書類等封入用封筒	・市販の角 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step 5」を確認してください。




**step 2**

●ポータルサイトにアクセス

- ・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上、インターネット出願登録を進めてください。

※ポータルサイトのユーザーIDとしてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時 (2026年11月又は2027年5月) まで使用できるメールアドレスを登録してください。

本学 Web サイト URL  
[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/inet-apply/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/inet-apply/)




**step 3**

●出願登録

- ・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。

※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。



**step 4**

●入学検定料等の支払い

- ・インターネット出願サイトの指示に従って、次の (1) から (4) のいずれかの方法で、入学検定料 (30,000 円) をお支払いください。 (〔4〕出願手続 3 入学検定料等の支払方法参照)
- ・入学検定料の他に、支払手数料 (990 円) が必要となります。

(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM (ペイジー)	インターネットバンキング



**step 5**

●出願確認票及び宛名ラベルの印刷

- ・再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 サイズの白の用紙に片面で印刷してくだ

さい。  
 ※インターネット出願登録期間内（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）に必ず印刷を完了してください。



**step 6**

●出願書類の郵送

・〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、出願書類を簡易書留郵便により郵送してください。

※出願書類提出期間に必要な書類が到着しなければ、出願は受理できませんので、郵便事情を十分考慮し、余裕を持って郵送してください。（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）

### 3 入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有ATMでは使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

### 4 出願書類等

インターネット出願サイトにて出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて出願書類提出期間に郵送してください。出願書類等は、必ず以下の「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に封入してください。

本学所定の様式は、本学Webサイトからダウンロードしてください。

(両面印刷指定のある様式以外は、A4サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限りPC等での作成も可。手書きの場合は、黒のボールペン(消せるボールペンは不可)を使用し、本人が記入してください。)

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/gs\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs/)

【注意事項】

- ・旧姓(名)の証明書等を使用する場合は、姓(名)の変更が確認できる公的書類を併せて提出してください。※原本（コピー不可）
- ・和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、公証役場、大使館等)の証明のある翻訳文を併せて提出してください。個人の署名や印では認めません。※原本（コピー不可）
- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・必要に応じて、追加書類の提出を求めることがあります。
- ・提出された書類は、原則返却しません。

【一般選抜】

1	出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから A4 サイズの白の用紙に印刷してください。
2	入学願書	本学所定の様式に必要事項を記載してください。
3	卒業（見込）証明書 （出願資格を証明する書類） ※原本（コピー不可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長又は学部長等が作成したもの。（成績証明書に卒業（見込み）の証明がある場合は、提出不要。）</li> <li>※以下の書類は認めません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web サイト等からダウンロード（印刷）したもの</li> <li>・出身大学から送付された電子データを印刷したもの</li> <li>・出身大学以外の機関が発行したもの</li> </ul> </li> <li>・〔2〕出願資格(2)により出願する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。 (授与申請を行う者は、出身学校長等が作成した「学位授与申請予定者である旨の証明書(様式任意)」を提出してください。)</li> <li>・〔2〕出願資格(9)から(10)により出願する者は、出願資格認定書を提出してください。</li> </ul>
4	成績証明書 ※原本（コピー不可）	<p>出身大学長又は学部長等が作成したもの。看護系の短期大学、専修学校等を卒業した者は、その証明書も提出してください。</p> <p>※編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>※以下の書類は認めません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web サイト等からダウンロード（印刷）したもの</li> <li>・出身大学から送付された電子データを印刷したもの</li> <li>・出身大学以外の機関が発行したもの</li> </ul> <p>(〔2〕出願資格(9)から(10)により出願する者は、提出不要。)</p>
5	事前面談確認書	<p>本学所定の様式。</p> <p>事前面談確認書に志望する分野の教員の署名を受けたもの。</p> <p><u>(事前の出願資格審査で提出した者は、提出不要。)</u></p>
6	写真票及び縦 4 cm×横 3 cm	本学所定の様式に必要事項を記載し、写真（上半身、無帽で出願日よ

	の写真<1枚>	り3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。
7	宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付け、出願書類を同封し、郵送してください。

**【一般選抜】(助産師資格取得プログラム及び保健師資格プログラム)**

一般選抜により母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】、地域看護学【保健師資格取得プログラム】ならびにヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】を出願しようとする者は、前記の出願書類に加えて次の書類を提出してください。

8	看護師免許証(写し)	看護師免許証の写しを提出してください。看護師免許取得見込みの者は免許取得後、「登録済証明書」を提出してください。
---	------------	--

**【社会人特別選抜】**

社会人特別選抜により出願しようとする者は、前記【一般選抜】の出願書類に加えて次の書類を提出してください。

8	看護師等免許証(写し)	看護師・保健師・助産師のうち所持している免許証の写しを提出してください。
9	在職期間証明書	通算3年以上(2027年3月までの見込みを含む。)の実務経験を有することの所属長等の証明書を提出してください(様式任意、在職期間及び職種の記載要)。
10	志望する領域に関する実績	志望する領域に関する看護実践及び研究発表・論文等の活動をA4用紙に記載し、提出してください(様式任意)。
11	研究課題書	大学院博士前期課程において研究する予定の研究課題について、A4用紙で記載してください(様式任意)。表紙には、出願者の氏名、志望する研究領域、研究指導を希望する教員名を明記してください。

**【学部特別選抜】**

学部特別選抜により出願しようとする者は、前記【一般選抜】の出願書類に加えて次の書類を提出してください。

8	志望理由書	本学所定の様式を用いて、800字以内で記載してください。
9	研究課題書	大学院博士前期課程において研究する予定の研究課題について、A4用紙で記載してください(様式任意)。表紙には、出願者の氏名、志望する研究領域、研究指導を希望する教員名を明記してください。

**5 出願についての注意**

- (1) [4] 出願手続 1 出願期間 内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願確認票及び宛名ラベルの印刷、出願書類の郵送(簡易書留郵便にて出願書類提出期間最終日までの消印有効)の全ての手続を行う必

要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、注意してください。また、出願確認票及び宛名ラベルは、入学検定料等の支払い完了後に印刷可能となります。

(2) 志願者情報の入力について

住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。

○返還可能な事由

①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合

②出願書類が不備等により受理されなかった場合

③重複して入学検定料を払い込みした場合

④国費留学生在が本学大学院に入学した場合

(注) ①～③の返還方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に杉本キャンパス入試課にお問い合わせください。④については、入学後に返還します。

※インターネット出願サイトの操作方法に関する問い合わせは、出願サイトで確認してください。

## 6 受験票について

出願書類を受理した者には、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに受験票に関するお知らせを送信します。メールに記載の URL からポータルサイトにログインし、受験票を A4 サイズの白の用紙に各自で印刷してください（受験票は郵送しません）。

試験日1週間前になってもメールが届かない場合及び記載誤りのある場合は、必ず看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）に連絡してください。

なお、印刷した受験票は試験当日忘れずに持参してください。

## 7 受験上・修学上の配慮について

障がいがある等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として以下の期日までに、看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）に申し出てください。

第1次募集	第2次募集
2026年6月12日(金)	2026年10月9日(金)

## 〔5〕入学者選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。なお、本研究科が指定した試験科目

を受験しなかった者は、合否判定の対象にはなりません。試験会場は、本学阿倍野キャンパス看護学部学舎 B 棟（JR「天王寺駅」、大阪メトロ「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩 10 分）です。

受験の際には、各自で印刷した受験票を必ず持参してください。

## 1 試験科目

### 【一般選抜】

- (1) 専門科目 各専門分野に関わる知識を確認します。  
志望する分野の科目を一つだけ受験してください。  
<科目> 看護技術学 看護情報学 看護管理学 看護教育学 健康基礎科学  
急性看護学 がん包括ケア科学 慢性看護学 感染看護学  
精神看護学 小児看護学 子ども・家族ケア科学 家族看護学  
母性看護・助産学 ウィメンズヘルスケア科学 老年看護学 在宅看護学  
地域包括ケア科学 地域看護学（※） ヘルスプロモーションケア科学（※）  
（※）保健師資格取得プログラムの専門科目は、同一の試験問題となります。
- (2) 英語 医療・保健・福祉・看護に関わる英文資料（英文記事等）をもとに、和訳、読解問題を課します。試験中の辞書の使用はできません。
- (3) 口述試験 指導的かつ実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、ならびに志望する研究課題について行います。

### 【社会人特別選抜】

- (1) 出願書類審査 出願書類として提出された「志望する領域に関する実績」及び「研究課題書」について審査します。
- (2) 英語 医療・保健・福祉・看護に関わる英文資料（英文記事等）をもとに、和訳、読解問題を課します。試験中の辞書の使用はできません。
- (3) 口述試験 指導的かつ実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、ならびに志望する研究課題について行います。

### 【学部特別選抜】

- (1) 出願書類審査 出願書類として提出された「志望理由書」及び「研究課題書」について審査します。
- (2) 口述試験 指導的かつ実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、ならびに志望する研究課題について行います。

## 2 試験日時・配点

### (1) 試験日

第 1 次募集	第 2 次募集
2026 年 8 月 24 日(月)	2026 年 12 月 5 日(土)

### (予備日)

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

第1次募集	第2次募集
2026年8月27日(木)	2026年12月20日(日)

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトにてお知らせしますので、確認してください。

<大阪公立大学 看護学研究科> <https://www.omu.ac.jp/nurs/>

## (2) 試験時間割・配点

### 【一般選抜】

科目名	時間	配点
専門科目	9:00～10:30	100点
英語	11:10～12:40	50点
口述試験	13:30～	100点

### 【社会人特別選抜】

科目名	時間	配点
英語	11:10～12:40	100点
口述試験	13:30～	100点
出願書類審査	—	50点


### 【学部特別選抜】

科目名	時間	配点
口述試験	13:30～	100点
出願書類審査	—	150点

## 〔6〕合格者発表等

### 1 合格者発表

合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

第1次募集	第2次募集
2026年9月8日(火)10:00	2027年1月8日(金)10:00
<b>【掲載場所】</b> <a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/">https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/</a>	
	

Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10:00 から合格者発表日を含む 7 日目の 17:00 までです。

### 2 合格通知書及び入学手続案内

合格者には、合格通知書及び入学手続案内を、合格者発表当日に発送します（手渡しでの書類交付はありません）。

せん)。なお、発送は日本国内の住所に限ります。

### 3 追加合格


追加合格は、母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】、地域看護学【保健師資格取得プログラム】ならびにヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】において、第1次募集における入学手続完了者が募集人員に達しなかった場合に行うことがあります。追加合格を実施する場合は、2026年9月18日(金)に追加合格候補者に入学願書記載の連絡先に電話で直接連絡し、本人の意思確認を行います。入学手続の方法については、追加合格者へ個別に説明します。

なお、最初の連絡から2時間以内に入学意思が確認できない場合は、候補者から除外されます。

## 〔7〕入学手続

入学手続案内の説明に従って、以下の期間にポータルサイトより手続してください。入学手続は、システムからの手続が必要となります。

※出願時に「卒業見込み」「修了見込み」等で出願した者は、入学手続案内の説明に従って、期日までに「卒業証明書」「修了証明書」等を提出してください。

	第1次募集	第2次募集
入学手続システム 登録期間	2026年9月14日(月)11:00 ~2026年9月17日(木)12:00	2027年1月21日(木)11:00 ~2027年1月25日(月)12:00
ポータルサイト (入学手続システム)	<a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/general/procedure/">https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/general/procedure/</a> 	

(注)・システム登録時に入学料の納付が必要となります。支払方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は

〔8〕学費(入学料・授業料)を確認してください。

・入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

## 〔8〕学費(入学料・授業料)

学費(入学料・授業料)については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。

(注) 既納の納付金は返還しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」282,000円 「その他の者」382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前(2027年春入学者の場合、2026年4月1日以前)から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続きサイト登録期間の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続き案内に記載します。

- ・入学料は、入学手続き期間内に納付してください。
- ・入学料の他に、支払手数料が必要となります（本人負担）。

支払方法は、下記の3種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続きサイト内で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1) クレジットカード ・大阪府民及びその子 6,500 円 ・その他の者 8,500 円	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) ATM（ペイジー） 1,250 円	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。コンビニ窓口・コンビニの共有ATMでは使えません。
(3) インターネットバンキング 1,250 円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

(注意事項) 支払方法(2)(3)について、ペイジーによる払込にかかる手数料や利用可能時間、現金での払込上限金額等については、金融機関ごとに異なる場合がありますので、事前に各金融機関のWebサイト等でご確認ください。

※支払手数料は取引内容・決済方法により変動します。確定金額は入学手続きの際にご確認ください。

- ・入学料決済後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。博士前期課程入学手続き者で「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付してください。入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います（入学後に申請が必要です）。

※外国人留学生は、本制度の対象外です。

## 2 授業料 [年額] 535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料は、年額の1/2を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が異なることがあります。

## 3 その他の必要経費

- (1) 各種団体・学生保険（日本看護学校協議会共済会総合補償制度「Will」）等に参加していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

### (3) 個人ノートパソコン<ラップトップ>の準備 (必携)

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業等においてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペック (2027 年度) は、本学 Web サイトで公開します (2027 年 2 月頃予定)。経済的な事情等によりノートパソコンの準備が困難な方については、1 年間の貸与制度を準備しています。

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>



(4) 一部の分野・コースでは、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、研究科のオリエンテーション等でお知らせします。

## 〔9〕 経済支援制度について

本学には、授業料減免制度 (大阪府の授業料無償化等) や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しています。(Web サイトの掲載内容は現時点の内容であり、変更となる可能性があります。)

<大阪公立大学 経済支援制度>

[https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial\\_aid/](https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/)



## 〔10〕 長期履修制度

博士前期課程の標準修業年限は 2 年です。

社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することにより学位を取得できる長期履修学生制度があります。詳しくは本学 Web サイトに掲載していますので、制度利用を希望する場合は、速やかに内容を確認して手続きを行ってください。

<https://www.omu.ac.jp/contribution/recurrent/longcourse/index.html>



### 1 申請資格

長期履修の申請することができる者は、博士前期課程に入学しようとする者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 育児・介護等の事情を有する者
- (3) その他、相当の理由があると認められる者

### 2 長期履修期間

長期履修期間は、3～4 年間で研究科が認める期間とします。

- ・1 年を単位とし、長期履修を適用せずに在学する期間を通算して在学年限を超えないものとします。(修了による短縮は年度途中でも可とする。)

例) 申請資格のある合格者が、入学手続き時に最長の長期履修を申請する場合

2年（標準修業年限）－0年（在学期間）＝2年×2倍＝4年（長期履修期間）

・入学後に申請できる長期履修期間は、修業年限から在学期間を差し引いた期間の2倍以内とします。

例) 申請資格のある1年次生が、次年度より長期履修制度を利用する場合

2年（標準修業年限）－1年（在学期間）＝1年×2倍＝2年（長期履修期間）

### 3 申請手続

本研究科の入学選抜に合格した者のうち、長期履修を希望する場合は、指導予定教員と相談の上、研究科が指定する期日までに以下の書類を提出してください。

#### 【申請書類】

(1) 長期履修願

(2) 次に定める申請資格の確認できる書類

区分	必要書類
職業を有し、就業している者	在職証明書又はそれに代わるもの
育児、介護等の事情を有する者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか
その他、相当の理由があると認められる者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか

### 4 可否の認定

申請書類を審査のうえ、許可の可否を決定し、出願者へ通知します。

### 5 授業料

長期履修制度の申請が認められた場合、徴収する授業料の年額は、長期履修期間に限り、授業料の年額に修業年限に相当する年数を乗じた額を長期履修期間の年数で除した額とします。納付する授業料総額は基本的に正規の金額（2年間分）に等しくなります。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることになります。

### 6 期間短縮申請

長期履修を認められた者が、入学後、当該履修期間短縮を希望する場合には、本研究科が定める期間において長期履修短縮申請書を提出し、期間を短縮することができます。

また、修了の期間の短縮は、年度途中でも可能です。

### 7 注意事項

(1) 長期履修制度を希望する者は、志望分野の教授に必ず事前に相談し、了承を得てください。

(2) 博士前期課程の在学年限は4年です。長期履修を認められた者も在学年限は4年となります。

(3) 申請をした者は必ず長期履修が承認されるということではありません。

(4) 博士前期課程においては、下記分野の実践看護研究コース（CNSコース）、母性看護・助産学【助産師資格取得プログラム】、地域看護学【保健師資格取得プログラム】ならびにヘルスプロモーションケア科学【保健師資格取得プログラム】は長期履修制度を適用しておりません。

<小児看護 CNS、家族支援 CNS、急性・重症患者看護 CNS、感染症看護 CNS>

## 〔11〕 その他

### 1 個人情報の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切な利用、管理をいたします。

#### (1) 個人情報の定義

本学が入学者選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

#### (2) 個人情報の利用

- ・ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等のFD※1活動、大学運営改善等に向けたIR※2に利用します。（入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）
- ・ 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。
- ・ データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

※1 FD：Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組  
例) 授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR：Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

### 2 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

#### (1) 提供期間

第1次募集	第2次募集
2026年11月5日（木）10:00～ 2026年11月27日（金）15:00	2027年5月7日（金）10:00～ 2027年6月4日（金）15:00

#### (2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

#### (3) 提供方法

下記 URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/score/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/score/)



3 出願書類に虚偽があった場合又は入学者選抜において不正行為をしたことが判明した場合は、入学手続完了後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

4 卒業（修了）見込み又は学位を授与される見込みで出願し、入学手続を完了した者が2027年3月31日までに卒業（修了）できなかった又は学位を授与されなかった場合は、入学許可を取り消します。

5 出願資格認定による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

6 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び

技術の提供について、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。また、必要に応じて書類の提出を求められることがありますので、留意してください。

7 希望者には大阪公立大学看護学研究科における過去2年間の入試問題を配付します。また、送付希望者に対して郵送（ただし、送料は送付希望者負担）も行っています。

希望者は、大阪公立大学入試情報サイト「過去問題（参考問題）の入手方法等」より、Web上で必要情報を入力の上、ご請求ください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/g\\_s\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs/)

※学部特別選抜については、過去問題配付の対象外となります。

## 〔12〕 出願資格審査

〔2〕 出願資格(9)から(10)に該当する者が対象です。

### 1 出願資格審査の申請について

必ず看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）へ事前連絡をし、出願資格審査申請書（本学所定の様式）を本学Webサイトからダウンロードし、A4サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/g\\_s\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs/)

注1 旧姓(名)の証明書等を使用する場合は、姓(名)の変更が確認できる公的書類を併せて提出してください。

※原本（コピー不可）

注2 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学等)の証明のある翻訳文を併せて提出してください。個人の署名や印では認めません。※原本（コピー不可）

注3 提出書類は、原則として返却しません。

### ① 〔2〕 出願資格(9)により出願しようとする者

資格審査対象者は、学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得し、在学の学長等の推薦のあるものです。

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	在籍した最終大学(学部)の退学証明書及び在籍大学院研究科の在籍証明書又は修了(見込)証明書	学長又は学部長・研究科長が発行したもの ※原本（コピー不可）
3	在籍した大学(学部)の成績証明書及び在籍大学院研究科の成績証明書	学長又は学部長・研究科長が発行したもの ※原本（コピー不可）
4	在籍した大学(学部)又は在籍大学院・研究科の推薦書	本学所定の様式を用い、学長又は学部長(研究科長)が作成したもの(厳封)
5	出身大学・学部等の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則及びシラバス又はこれに相当するもの(コピー可)
6	結果通知用封筒	返信用封筒(長形3号 23.5cm×12cm)に460円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金350円と定形郵便110円分。郵便料金が改

	定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。
--	-----------------------------

② [2] 出願資格(10)により出願しようとする者

資格審査対象者は、看護系の短期大学、専修学校等を卒業又は修了した後、次の年数以上(2026年3月までの見込みを含む)、実務経験を有する者です。

ただし、実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験をいうものとします。

2年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 2年以上

3年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 1年以上

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身学校(看護系すべて)の卒業・修了証明書	学校長が発行したもの ※原本(コピー不可)
3	出身学校(看護系すべて)の成績証明書	学校長が作成したもの ※原本(コピー不可)
4	出身学校(看護系すべて)の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則又はこれに相当するもの(コピー可)
5	保健師、助産師、看護師免許(写し)	免許を有する者は、免許証の写しを提出してください。
6	在職期間証明書	実務経験を有することの所属長等の証明書 (様式任意、在職期間及び職種の記載要)
7	結果通知用封筒	返信用封筒(長形3号 23.5cm×12cm)に460円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金 350円と定形郵便 110円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

2 受付期間等

第1次募集	第2次募集
2026年6月22日(月)～ 2026年6月26日(金)必着	2026年10月26日(月)～ 2026年10月30日(金)必着

(注) 簡易書留・受付期間内**必着**で郵送してください。

送付先

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号

大阪公立大学 阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟 看護学研究科学務課事務室

Tel 06-6645-3511

(注) 封筒の表には「看護学研究科博士前期課程出願資格審査書類在中」と「赤色」で書いてください。

3 審査の結果

申請書類により審査し、出願書類提出期間最終日の1週間前までに郵送で通知します。

なお、2027年度本研究科入学者選抜に限り有効です。

# 看護学研究科博士前期課程の概要

## 1. 教育理念

生命と人権の尊重を基盤とし、保健医療福祉および社会の諸変化に対して人々のクオリティ・オブ・ライフ (QOL) を志向した創造的・性豊かな実践や研究をけん引できる実践者、研究者、教育者を育成し、看護学および地域の発展と国際社会に貢献します。

## 2. 教育目的・目標

人間の存在と生命の尊厳を深く理解し、広い視野に立ち、精深なる学識を深め、高い倫理観を持った変革者、リーダーとしての実践的能力、研究的能力を有する人材を育成することを目的とします。

## 3. 教育課程

研究者としての基盤を学修する修士論文コースと高度実践看護者（専門看護師）、看護管理実践者、看護教育者などの卓越した能力を学修する実践看護研究コースを設定しています。また、博士前期課程の修士論文コースにおいて、高度な実践力や研究力を有する助産師養成課程（2023年度～）と保健師養成課程（2025年度～）を開設しています。

修士論文コースでは、保健医療福祉や看護を含むケアの課題を科学的視点および学際的視点で追求し、エビデンスの構築、実装化を志向し、研究成果を発信できる人材を養成するための科目を配置します。

実践看護研究コースでは看護に関わる課題解決につながるエビデンスを構築し、実装化を志向できる研究ができ、高い倫理観を持ち、看護に関わる現象を分析し、チーム医療において社会を変革できる実践者を養成するために必要な科目を配置します。高度実践看護者（専門看護師/Certified Nurse Specialist : CNS）の養成は、9つの専門看護師分野で修得できます。

表 教育課程（博士前期課程）

領域	分野	修士論文コース	実践看護研究コース
基幹革新 看護学	看護技術学	○	
	看護情報学	○	
	看護管理学	○	○
	看護教育学	○	○
	健康基礎科学	○	
臨床革新 看護学	急性看護学	○	○
	がん包括ケア科学	○	○
	慢性看護学	○	○
	感染看護学	○	○
	精神看護学	○	○
	小児看護学	○	○
	子ども・家族ケア科学	○	○
家族看護学	○	○	

	母性看護・助産学	○	
	母性看護・助産学 【助産師資格取得プログラム】	○	
	ウィメンズヘルスケア科学	○	
地域革新 看護学	老年看護学	○	○
	在学看護学	○	○
	地域包括ケア科学	○	
	地域看護学	○	
	地域看護学 【保健師資格取得プログラム】	○	
	ヘルスプロモーションケア科学	○	
	ヘルスプロモーションケア科学 【保健師資格取得プログラム】	○	

各分野の特色は次に示す通りです。

分野	概要
看護技術学	看護技術は対象となる人々と医療者の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される実践的スキルであり、看護技術学はこの実践的なスキルと理論的知識が融合した学問である。これをふまえて看護技術学分野では、看護問題の解決に用いられる看護技術の科学的根拠やそれに関連する理論や新たな課題について探求し、看護の質向上に寄与する実証的かつ開発的な研究を行い、研究力を身につけることを目標とする。
看護情報学	看護現象を科学的に捉え、複雑な健康課題を解決する力を育成する。具体的には、看護データサイエンス、ヘルスコミュニケーション、Evidence-Based Practice等の専門知識・技能を修得し、データや情報の活用力・分析力・解釈力を養う。さらに、疫学や統計学を基盤とした量的研究を通じて、看護実践の可視化や質の評価、健康増進や看護の質向上等に寄与する実証的な研究を行い、次世代の看護を支える研究力を身に付けることを目標とする。
看護管理学	社会情勢の変化とそれに対応する保健・医療・福祉システムや組織のもつ資源活用に関して、看護管理学及び近接する学問領域の視点から分析し課題を明らかにするとともに看護サービスの質の向上に寄与する看護管理のあり方を多角的に探究する。基本となる理論や考え方を学修し、概念化力、論理構成力、課題解決力、リーダーシップ力を養う。修士論文コースでは、研究遂行力に焦点を置き、実証的な研究を行う。実践看護研究コースでは、課題解決力に焦点を置き、組織開発を目指す実習と課題研究を行う。
看護教育学	看護基礎教育と継続教育という側面から看護専門職の発達や育成にかかわる要素を探索するとともに、看護教育学に関する諸理論および関連学問分野の知見を活用して、看護ケアの質を高めるための教育的役割と機能、教育方法、教育評価などについて探究する。その際、実践・理論・研究・教育をつなげて考えることを重視する。修了後は、看護基礎教育および継続教育において看護専門職の育成や発達に携わり、看護学教育の発展に貢献することを期待する。 修士論文コースでは、看護教育学に関する知識および理論を活用して、看護ケアの質の向上に資する教育に関する実証的な研究を行い、研究能力を培うことをねらいとする。

分野	概要
	実践看護研究コース/看護教育者では、看護教育学において必要となる専門的な理論と実践能力を基盤に、高度な教育・研究能力を保持し、グローバルな視座を有する看護教育者を育成する。なお、実践看護研究コース/看護教育者においては、看護師等養成所の専任教員となるために必要な教育に関する科目を履修することができる。
健康基礎科学	基礎研究：実験医学研究を行う上で必要となる生化学的・細胞生物学的手法を習得すると共に癌および動脈硬化・血管石灰化の治療応用への基礎となる研究を行う。 臨床研究：統計解析手法を習得すると共にそれを用いて 1) 糖尿病合併症の発症・進展におけるバイオマーカーの役割や 2) ワクチンの有効性・安全性ならびに接種忌避について研究する。
急性看護学	周手術期及びクリティカルな状況にある患者並びにその家族への、高度な看護判断と看護援助を探究するとともに、QOL の向上に寄与するアセスメント、看護介入、アドボカシー、患者教育などに関する研究能力を養う。
がん包括ケア科学	本分野では、がん看護学と急性期看護学を二本柱とし、集学的治療ケアから支持療法ケア、緩和ケアを含むがん患者ケアと、手術室や救急・集中治療室を含む急性期看護を研究領域とする。患者・家族に対する看護ケアや看護管理に関わる多様な課題を総合的・全体的に探究し、問題解決能力を養い、新たな看護の創生につなげる。加えて、2026 年度よりがん看護専門看護師（CNS）の育成にも取り組む。
慢性看護学	慢性疾患とともに生きる人の生活への身体的、心理的、社会的影響、その理解や看護に必要な概念や理論を学ぶとともに、慢性疾患の予防期から終末期までの看護支援に関わる知識や技術を修得する。また、家族の課題についても検討し、QOL 向上に寄与する実証的な研究に取り組む。
感染看護学	看護ケアを行ううえで必要な感染防止技術や感染管理方法について科学的に探求し、感染看護の専門的知識・技術を修得する。また、易感染患者や感染症患者の QOL 向上に寄与する感染看護実践のあり方や施設および地域における効果的な感染管理システムに関する実証的な研究を行う。
精神看護学	精神医療・保健・福祉の変遷に伴い拡大してきた看護の役割を踏まえ、精神の健康を維持・増進するために必要な看護理論や概念、および対象に応じた専門的な看護実践方法を修得する。また、対象となる当事者や家族を支える看護実践について探究し、実証的な研究を行う。
小児看護学	現代社会の背景、親子関係、成長発達理論等をふまえて、子どもとその家族の健やかな成長発達のための援助方法を探求する。また、先天性疾患、急性疾患、慢性疾患、ハンディキャップ、メンタルヘルスの問題など、さまざまな状況にある子どもとその家族が抱える発達や健康に関する課題への看護援助について実証的な研究を行う。
子ども・家族ケア科学	小児看護学および家族看護学の発展に寄与することを基本理念とする。子どもの健やかな成長・発達を保障し、子どもと子どもをもつ家族の健康と幸福を実現するための支援方法を探求する。研究を遂行するプロセスを通じて、小児看護学・家族看護学の研究や実践に必要な基礎的能力を養う。
家族看護学	家族を看護の対象とし、家族が本来有する機能と家族の健康に関するケア機能を高める援助を探究する。また、家族に生ずる健康問題、それに関連した要因への看護援助について家族看護の諸理論を活用し、実証的な研究を行う。
母性看護・助産学	マタニティサイクルにおける母子と家族の健康維持、増進ならびに疾病予防に対する看護支援、セクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツの促進活動に寄与する看護について諸理論を活用して実証的な研究を行う。また、医療・学校・福祉の多職種連携による協働支援について追究し、実証的な研究を行う。 助産師資格取得プログラムでは、自律した助産ケア、母子への包括ケア、ハイリスク

分野	概要
	事例へ対応できる実践能力、管理的・経営学的知識などを有する専門職者を育成する。
ウィメンズヘルスケア科学	ウィメンズヘルスケアに関連する理論や最新の知見、女性を取り巻く社会情勢をふまえて、女性のライフサイクル各期の健康問題やリプロダクティブヘルスを増進するためのケアを理論的、科学的に探究する。
老年看護学	老年期における複雑な健康課題を多面的に理解し、エビデンスに基づくアセスメントおよび看護実践の探究を通して、高齢者と家族の健康生活を支援する看護実践能力と研究的思考力を養う。修士論文コースでは、高齢者の健康課題を科学的に探究し、研究方法を体系的に修得する。実践看護研究コースでは、慢性期および認知症ケアをサブスペシャリティとし、高度実践看護を展開するための臨床判断能力と高い倫理観を涵養する。
在宅看護学	在宅療養者と家族の生活を総合的に捉えるアセスメント能力と、ケアマネジメントの理論・方法論、専門的看護実践の技法を体系的に修得する。また、地域の生活文化に根ざした看護の探究や、療養移行支援、在宅ケアシステムの構築、ケアの質評価、教育、連携・調整、経営管理に関する知識と実践力を深化させる。これらの課題に対し、実証的研究を通して高度実践者としての基盤を形成する。
地域包括ケア科学	医療、介護、予防、生活支援、社会参加など学際的側面から人々のケアニーズにアプローチする地域包括ケアを探究する。地域包括ケアのモデルや支援の基本を理解し、療養者、虚弱な高齢者などケアニーズの高い人々の生活の質の向上と機能低下予防を目指す基礎的な研究を展開する。
地域看護学	個人・家族、集団、地域・組織の特性に応じた健康の維持・増進を目指し、対象の現状とニーズ把握、支援方法や社会資源の開発、連携のあり方等について探求する。また、個人、家族および集団の健康指標、コミュニティやその構成員に関する質的・量的評価、顕在・潜在的な健康課題の解決に向けた実践的研究を行う。 保健師資格取得プログラムでは、科学的根拠に基づき、保健師として自立して活動できる実践力を養い、健康政策の提言力、コミュニケーション・リーダーシップ力、学際的・グローバルな視点から公衆衛生看護学に寄与できる専門職者を育成する。
ヘルスプロモーションケア科学	公衆衛生看護学を基盤として、地域で生活するあらゆる人々の健康と福祉の向上のために、人々の健康課題を的確に分析・予測し、かつ予防的に問題解決を図り、革新的な方策の開発等に資する研究能力と実践能力の開発をグローバルな視点から養う。特に、国際的な研究能力の育成については、フィンランドのヘルシンキ大学やオウル応用科学大学とのweb交流等を通じて探求する。 保健師資格取得プログラムでは、科学的根拠に基づき、保健師として自立して活動できる実践力を養い、健康政策の提言力、コミュニケーション・リーダーシップ力、学際的・グローバルな視点から公衆衛生看護学に寄与できる専門職者を育成する。

#### 4. 修業年数及び学位

- 1) 修業年数 2年
- 2) 学位 修士(看護学)  
Master of Nursing Science

## 5. 修了要件

(修士論文コース)

大学院共通教育科目から必修1単位、専門科目から専門基礎科目の必修4単位を含む必修12単位を履修する。さらに、専門科目のうち自身が所属する分野の授業科目から選択6単位を含め、大学院共通教育科目および専門科目の選択科目から18単位以上を履修し、修士論文の審査および最終試験に合格する。

以上により、必修13単位、選択18単位以上、合計31単位以上を修得する。

※自身が所属する分野以外の特論科目の履修を希望する場合は、予め当該科目の責任者に相談すること。

(実践看護研究コース)

大学院共通教育科目から必修1単位、専門科目から専門基礎科目の必修4単位を含む必修8単位を履修する。さらに、専門科目のうち自身が所属する分野の授業科目から選択8単位を含め、大学院共通教育科目および専門科目の選択科目から22単位以上を履修し、修士論文又は課題研究の審査および最終試験に合格する。

以上により、必修9単位、選択22単位以上、合計31単位以上を修得する。

**※本研究科は大学院設置基準第14条特例により、社会人学生に合わせて時間割上の配慮をしています。**

## 6. 在学年限

博士前期課程の修業年数は2年です。2年間で所定の単位を修得できない場合は在学期間を延長することはできませんが、通算4年を超えることはできません。長期履修制度を適用する場合も在学年限は通算4年を超えることはできません。

## 看護学研究科博士前期課程 担当教員一覧・問合せ先

※[at] は@で置き換えてください。

領域	分野	担当教員	メールアドレス
基礎革新 看護学	看護技術学	土肥 美子	doi.yoshiko[at]omu.ac.jp
	看護情報学	森本 明子	morimoto[at]omu.ac.jp
	看護管理学	伊豆上 智子	izugami[at]omu.ac.jp
	看護教育学	細田 泰子	hosoday[at]omu.ac.jp
	健康基礎科学	伊藤 一弥	kazuya-ito[at]omu.ac.jp
臨床革新 看護学	急性看護学	北村 愛子	a-kitamura[at]omu.ac.jp
	がん包括ケア科学	作田 裕美	sakuda[at]omu.ac.jp
	慢性看護学	中尾 友美	t-nakao[at]omu.ac.jp
	感染看護学	佐藤 淑子	ysato[at]omu.ac.jp
	精神看護学	富川 順子 松田 光信	jtomikawa[at]omu.ac.jp (問い合わせ先) mmatsuda[at]omu.ac.jp
	小児看護学	仁尾 かおり	k-nio[at]omu.ac.jp
	子ども・家族ケア科学	平谷 優子	hiratani.yuko[at]omu.ac.jp
	家族看護学	中山 美由紀	miyuki.nakayama[at]omu.ac.jp
	母性看護・助産学	渡邊 香織	kaori[at]omu.ac.jp
	ウィメンズヘルスケア科学	玉上 麻美	tamaue.mami[at]omu.ac.jp
地域革新 看護学	老年看護学	長畑 多代	tayon[at]omu.ac.jp
	在宅看護学	三輪 恭子	kmiwa[at]omu.ac.jp
	地域包括ケア科学	河野 あゆみ	ayukono[at]omu.ac.jp
	地域看護学	都筑 千景	tsuzuki[at]omu.ac.jp
	ヘルスプロモーションケア科学	横山 美江	yyokoyama[at]omu.ac.jp

# 博士後期課程

## ●博士後期課程

博士後期課程は、豊かな学識を有し、看護学分野において社会実装化することを視野に入れた学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目指しています。

したがって、本研究科の学位授与方針及び教育課程編成・実施方針を踏まえ、次の能力や適性を身につけた学生を求めています。

### 【能力】

- ・ 専門分野に精通した基礎及び応用力を有し、知識と研究成果をグローバルに発信できる基礎的語学力を有する人
- ・ 豊かな人間性と倫理観を備え、柔軟な思考、洞察力、発想力を有する人

### 【意欲】

- ・ 探究心を持ち、看護学の視点から自立して研究に取り組む姿勢を有している人
- ・ 学際的視野に立ち、看護学の体系化に主体的に取り組む熱意がある人

### 【志向】

- ・ 看護学の発展につながる革新的方策を目指し、研究を推進する意志を有する人
- ・ 地域社会、国際社会において看護の発展に貢献する意欲を有する人

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下を確認してください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>

## 〔1〕 募集人員

専攻	入学定員	募集人員 (第1次募集・第2次募集)
看護学	10名	10名

注 募集人員は、一般選抜、博士前期課程特別選抜を合わせた人数です。

選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合や募集人員よりも多くなる場合があります。

※ 第2次募集の実施の有無については、2026年9月に本学Webサイトでお知らせします。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/gs\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/gs_nurs/)

## 領域・分野

領域	分野
基幹革新 看護学	看護技術学
	看護情報学
	看護管理学
	看護教育学
	健康基礎科学
臨床革新 看護学	急性看護学
	がん包括ケア科学
	慢性看護学
	感染看護学
	精神看護学
	小児看護学
	子ども・家族ケア科学
	家族看護学
	母性看護・助産学
	ウィメンズヘルスケア科学
地域革新 看護学	老年看護学
	在宅看護学
	地域包括ケア科学
	地域看護学
	ヘルスプロモーションケア科学

※学びのキャンパスは、阿倍野キャンパスとなります。

## 〔2〕 出願資格

### 【一般選抜】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2027 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は 2027 年 3 月 31 日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 外国の学校、出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科で認められた者
- (8) 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月 31 日現在において 24 歳以上のもの

注 1 出願資格(7)から(9)により出願しようとする者は、出願前に「[12] 出願資格審査」を受ける必要があります。

注 2 出願資格(8)の「平成元年文部省告示第 118 号をもって文部科学大臣の指定した者」とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたものです。

#### 【博士前期課程特別選抜】

大阪公立大学看護学研究科博士前期課程を 2027 年 3 月に修了見込みの者。

### 〔3〕研究領域等についての事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要です。出願前に希望する研究指導教員に必ず相談して事前面談を受けてください。

なお、研究分野・領域及び指導教員名は「看護学研究科博士後期課程担当教員一覧・問合せ先」(48 ページ)を参照し、指導教員への連絡は直接メールで行ってください。

事前面談後、事前面談を受けた教員から事前面談確認書(本学所定の様式)の所定欄に、署名を受けてください。事前面談確認書は出願する場合に必要となります。

## 〔4〕出願手続

出願手続は、インターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

※本学の博士前期課程、修士課程若しくは専門職学位課程、大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者の、入学検定料は免除します。出願方法を別途案内しますので、インターネット出願登録期間初日（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）の1週間前までに、志望研究科、学籍番号及び氏名を杉本キャンパス入試課（gr-nyu-gss [at] omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

### 1 出願期間

	第1次募集	第2次募集
インターネット出願登録期間	2026年7月3日(金)10:00～ 2026年7月15日(水)17:00	2026年11月6日(金)10:00～ 2026年11月11日(水)17:00
出願書類提出期間	2026年7月9日(木)～ 2026年7月15日(水) <b>&lt;7月15日までの消印有効&gt;</b>	2026年11月9日(月)～ 2026年11月11日(水) <b>&lt;11月11日までの消印有効&gt;</b>

(※) 出願書類は簡易書留郵便により郵送してください。本学に直接持参しても受理できません。

### 2 出願方法

次のstep1～step6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4サイズの白の用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net 及び@omu.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願手続の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。
	出願書類等封入用封筒	・市販の角2号封筒(24cm×33.2cm)を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step5」を確認してください。



●ポータルサイトにアクセス	
step 2	・出願登録開始日時以降に本学 Web サイトからポータルサイトへアクセスし、ユーザーID、パスワードを登録の上インターネット出願登録を進めてください。
	※ポータルサイトのユーザーIDとしてメールアドレスが必要です。個人別成績の情報提供時(2026年11月又は2027年5月)まで使用できるメールアドレスを登録してください。

本学 Web サイト URL  
[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/inet-apply/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/inet-apply/)



step 3

●出願登録

・ポータルサイト内からインターネット出願サイトへ入り、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。

※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。

step 4

●入学検定料等の支払い

・インターネット出願サイトの指示に従って、次の (1) から (4) のいずれかの方法で、入学検定料 (30,000 円) をお支払いください。 ([4] 出願手続 3 入学検定料等の支払方法参照)

・入学検定料の他に、支払手数料 (990 円) が必要となります。

(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM (ペイジー)	インターネット バンキング

step 5

●出願確認票及び宛名ラベルの印刷

・再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 サイズの白の用紙に片面で印刷してください。

※インターネット出願登録期間内 ([4] 出願手続 1 出願期間 参照) に必ず印刷を完了してください。

step 6

●出願書類の郵送

・[4] 出願手続 4 出願書類等を参照の上、出願書類を簡易書留郵便により郵送してください。

※出願書類提出期間に必要な書類が到着しなければ、出願は受理できませんので、郵便事情を十分考慮し、余裕を持って郵送してください。 ([4] 出願手続 1 出願期間 参照)

### 3 入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000 円
- ・支払手数料 990 円

※本学の博士前期課程、修士課程若しくは専門職学位課程、大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者の、入学検定料は免除します。出願方法を別途案内しますので、インターネット出願登録期間初日 ([4]

出願手続 1 出願期間 参照) の1週間前までに、志望研究科、学籍番号及び氏名を杉本キャンパス入試課 (gr-nyu-gss [at] omu. ac. jp) へメールで連絡してください。

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関のATMで支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニの共有ATMでは使えません。
(4) インターネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国1,000行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

#### 4 出願書類等

インターネット出願サイトにて出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて出願書類提出期間に郵送してください。出願書類等は、必ず以下の「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に封入してください。

本学所定の様式は、本学 Web サイトからダウンロードしてください。

(両面印刷指定のある様式以外は、A4サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限りPC等での作成も可。手書きの場合は、黒のボールペン(消せるボールペンは不可)を使用し、本人が記入してください。)

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/g\\_s\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs/)

#### 【注意事項】

- ・旧姓(名)の証明書等を使用する場合は、姓(名)の変更が確認できる公的書類を併せて提出してください。※原本(コピー不可)
- ・和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、公証役場、大使館等)の証明のある翻訳文を併せて提出してください。個人の署名や印では認めません。※原本(コピー不可)
- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・必要に応じて、追加書類の提出を求められることがあります。
- ・提出された書類は、原則返却しません。

#### 【一般選抜】【博士前期課程特別選抜】(共通)

1	出願確認票(大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネ
---	--------------	----------------------------------

		ット出願サイトから A4 サイズの白の用紙に印刷してください。
2	入学願書	本学所定の様式に必要事項を記載すること。
3	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）証明書 （出願資格を証明する書類） ※原本（コピー不可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身大学長等が作成したもの。</li> <li>（〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、提出不要。）</li> <li>※以下の書類は認めません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web サイト等からダウンロード（印刷）したもの</li> <li>・ 出身大学から送付された電子データを印刷したもの</li> <li>・ 出身大学以外の機関が発行したもの</li> </ul> </li> <li>・〔2〕出願資格(6)により出願する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格（見込み）を証明する書類を提出してください。</li> <li>・〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、出願資格通知書を提出してください。</li> </ul>
4	大学院成績証明書 （修士課程成績証明書又は専門職学位課程成績証明書） ※原本（コピー不可）	<p>出身大学長等が作成したもの。</p> <p>※以下の書類は認めません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>： Web サイト等からダウンロード（印刷）したもの</li> <li>・ 出身大学から送付された電子データを印刷したもの</li> <li>・ 出身大学以外の機関が発行したもの</li> </ul> <p>（〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、提出不要。）</p>
5	成績証明書（学部等） ※原本（コピー不可）	<p>出身大学長等が作成したもの。看護系の短期大学、専修学校等を卒業した者は、その証明書も提出してください。</p> <p>※編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。</p> <p>※以下の書類は認めません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web サイト等からダウンロード（印刷）したもの</li> <li>・ 出身大学から送付された電子データを印刷したもの</li> <li>・ 出身大学以外の機関が発行したもの</li> </ul> <p>（〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、提出不要。）</p>
6	事前面談確認書	<p>本学所定の様式。</p> <p>事前面談確認書に志望する分野の教員の署名を受けたもの。</p> <p><u>（事前の出願資格審査で提出した者は、提出不要。）</u></p>
7	研究業績調書	<p>本学所定の様式を用い、<b>4部</b>提出してください。学術論文、著書、研究発表、特許などのほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について 200 字程度で記載してください。</p> <p>（〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は、出願資格審査申請書類として提出した「研究業績調書」をこれに替えるものとします。）</p>
8	修士論文・課題研究報告書等の要旨	<p>A4 サイズの白の用紙を用い、2,000 字程度で記載したものを <b>4部</b>提出してください。</p> <p>出願時に修士課程修了見込みの者は、経過報告を含む要旨を提出してく</p>

		<p>ださい。</p> <p>「博士論文研究基礎力審査」等による修士号取得者（予定者含む）で、修士論文、研究課題報告書の要旨の提出ができない者については、修士論文に代えて、それに相当する学術論文を提出することができます。</p>
9	研究計画書	A4サイズの白の用紙(2枚程度)を用い、博士後期課程入学(進学)後に実施しようと考えている研究計画について、課題、動機、目的及び方法などを分かりやすくまとめて <b>4部</b> 提出してください。
10	写真票及び縦4cm×横3cmの写真<1枚>	本学所定の様式に必要事項を記載し、写真(上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。
11	宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付け、出願書類を同封し、郵送してください。

## 5 出願についての注意

(1) [4] 出願手続 1 出願期間 内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願確認票及び宛名ラベルの印刷、出願書類の郵送(簡易書留郵便にて出願書類提出期間最終日までの消印有効)の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、注意してください。また、出願確認票及び宛名ラベルは、入学検定料等の支払い完了後に印刷可能となります。

※博士前期課程特別選抜出願者については、杉本キャンパス入試課での手続完了後に送付するメールが届き次第、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が可能となります。

(2) 志願者情報の入力について

住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、看護学研究所学務課事務室(阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟)まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。一般選抜出願者については、入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。

○返還可能な事由

①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合

②出願書類が不備等により受理されなかった場合

③重複して入学検定料を払い込みした場合

④本学の博士前期課程、修士課程若しくは専門職学位課程、大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者が、入学検定料を払い込みした場合

⑤国費留学生が本学大学院に入学した場合

(注) ①から④の返還方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に杉本キャンパス入試課にお問い合わせください。⑤については、入学後に返還します。

※インターネット出願サイトの操作方法に関する問い合わせは、出願サイトで確認してください。

## 6 受験票について

出願書類を受理した者には、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに受験票に関するお知らせを送信します。メールに記載の URL からポータルサイトにログインし、受験票を A4 サイズの白の用紙に各自で印刷してください（受験票は郵送しません）。

試験日1週間前になってもメールが届かない場合及び記載誤りのある場合は、必ず看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）に連絡してください。なお、印刷した受験票は試験当日忘れずに持参してください。

## 7 受験上・修学上の配慮について

障がいがある等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として以下の期日までに、看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）に申し出てください。

第1次募集	第2次募集
2026年6月12日(金)	2026年10月9日(金)

## 〔5〕入学者選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。なお、本研究科が指定した試験科目を受験しなかった者は、合否判定の対象にはなりません。試験会場は、本学阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟（JR「天王寺駅」、大阪メトロ「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩10分）です。

受験の際には、各自で印刷した受験票を必ず持参してください。

### 1 試験科目

#### 【一般選抜】

- (1) 英語 医療・保健・福祉・看護に関わる英文資料（英文記事等）をもとに、和訳、読解問題を課します。試験中の辞書の使用はできません。
- (2) 口述試験 これまでの研究の概要及び研究計画書の内容について、15分以内で口頭発表を行っていただきます。その後、口述試験委員との間で質疑応答を行います。なお、口頭発表にあたっては、パワーポイント等を使用してください。

#### 【博士前期課程特別選抜】

- (1) 口述試験 これまでの研究の概要及び研究計画書の内容について、15分以内で口頭発表を行っていただきます。その後、口述試験委員との間で質疑応答を行います。なお、口頭発表にあたっては、パワーポイント等を使用してください。
- (2) 出願書類審査 大学院での学業成績や「研究計画書」について評価します。

## 2 試験日時・配点

### (1) 試験日

第1次募集	第2次募集
2026年8月25日(火)	2026年12月6日(日)

### (予備日)

自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。

第1次募集	第2次募集
2026年8月28日(金)	2026年12月20日(日)

※自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトにてお知らせしますので、確認してください。

<大阪公立大学 看護学研究科> <https://www.omu.ac.jp/nurs/>

### (2) 試験時間割・配点

#### 【一般選抜】

科目名	時間	配点
英語	10:00～11:30	100点
口述試験	13:00～	100点

#### 【博士前期課程特別選抜】

科目名	時間	配点
口述試験	13:00～	100点
出願書類審査	—	100点

## 〔6〕合格者発表等

### 1 合格者発表

合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

第1次募集	第2次募集
2026年9月8日(火)10:00	2027年1月8日(金)10:00
【掲載場所】 <a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/">https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/pass/</a>	



Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の 10:00 から合格者発表日を含む 7 日目の 17:00 までです。

## 2 合格通知書及び入学手続書類

合格者には、合格通知書及び入学手続案内を、合格者発表当日に発送します（手渡しでの書類交付はありません）。なお、発送は日本国内の住所に限ります。

## 〔7〕入学手続

入学手続案内の説明に従って、以下の期間にポータルサイトより手続してください。入学手続は、システムからの手続が必要となります。

※出願時に「卒業見込み」「修了見込み」等で出願した者は、入学手続案内の説明に従って、期日までに「卒業証明書」「修了証明書」等を提出してください。

	第1次募集	第2次募集
入学手続システム登録期間	2026年9月14日(月)11:00 ~2026年9月17日(木)12:00	2027年1月21日(木)11:00 ~2027年1月25日(月)12:00
ポータルサイト (入学手続システム)	<a href="https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/general/procedure/">https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/general/procedure/</a> 	

(注)・システム登録時に入学料の納付が必要となります。支払方法に応じて支払手数料がかかります。詳細は

〔8〕学費（入学料・授業料）を確認してください。

・入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。

## 〔8〕学費（入学料・授業料）

学費（入学料・授業料）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。入学手続案内に詳細を記載しますので、必ず確認してください。

(注) 既納の納付金は返還しません。

### 1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2027年春入学者の場合、2026年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続サイト登録期間の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続案内に記載します。

・本学の博士前期課程、修士課程若しくは専門職学位課程、大阪府立大学の博士前期課程又は大阪市立大学の前期博士課程、博士前期課程、医学研究科の修士課程若しくは専門職学位課程から引き続き進学する者の入学料は、免除します。

・入学料は、入学手続期間内に納付してください。

・入学料の他に、支払手数料が必要となります（本人負担）。

支払方法は、下記の3種類が利用可能です。詳しい支払方法については、入学手続サイト内で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法・支払手数料	取扱機関等
(1) クレジットカード ・大阪府民及びその子 6,500 円 ・その他の者 8,500 円	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) ATM（ペイジー） 1,250 円	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。コンビニ窓口・コンビニの共有 ATM では使えません。
(3) インターネットバンキング 1,250 円	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のインターネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、インターネットバンキングの利用契約が必要です。

(注意事項) 支払方法(2)(3)について、ペイジーによる払込にかかる手数料や利用可能時間、現金での払込上限金額等については、金融機関ごとに異なる場合がありますので、事前に各金融機関の Web サイト等でご確認ください。

※支払手数料は取引内容・決済方法により変動します。確定金額は入学手続の際にご確認ください。

- ・入学料決済後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。

## 2 授業料 [年額] 535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料は、年額の 1/2 を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が異なることがあります。

## 3 その他の必要経費

- (1) 各種団体・学生保険（日本看護学校協議会共済会総合補償制度「Will」）等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。
- (3) 個人ノートパソコン<ラップトップ>の準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業等においてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペック（2027年度）は、本学 Web サイトで公開します（2027年2月頃予定）。経済的な事情等によりノートパソコンの準備が困難な方については、1年間の貸与制度を準備しています。



<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>

(4) 一部の分野・コースでは、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、研究科のオリエンテーション等でお知らせします。

## 〔9〕 経済支援制度について

本学には、授業料減免制度（大阪府の授業料無償化等）や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度を利用するには申請が必要です。詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しています。

<大阪公立大学 経済支援制度>

[https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial\\_aid/](https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/)



## 〔10〕 長期履修制度

博士後期課程の標準修業年限は3年です。

社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することにより学位を取得できる長期履修学生制度があります。詳しくは本学 Web サイトに掲載していますので、制度利用を希望する場合は、速やかに内容を確認して手続きを行ってください。

<https://www.omu.ac.jp/contribution/recurrent/longcourse/index.html>



### 1 申請資格

長期履修を申請することができる者は、博士後期課程に入学しようとする者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 育児・介護等の事情を有する者
- (3) その他、相当の理由があると認められる者

### 2 長期履修期間

長期履修期間は、4～6年間で研究科が認める期間とします。

・1年を単位とし、長期履修を適用せずに在学する期間を通算して在学年限を超えないものとします。（修了による短縮は年度途中でも可とする。）

例) 申請資格のある合格者が、入学手続き時に最長の長期履修を申請する場合

3年（標準修業年限）－0年（在学期間）＝3年×2倍＝6年（長期履修期間）

・入学後に申請できる長期履修期間は、修業年限から在学期間を差し引いた期間の2倍以内とします。

例) 申請資格のある1年次生が、次年度より長期履修制度を利用する場合

3年（標準修業年限）－1年（在学期間）＝2年×2倍＝4年（長期履修期間）

### 3 申請手続

本研究科の入学者選抜に合格した者のうち、長期履修を希望する場合は、指導予定教員と相談の上、研究科が指定する期日までに以下の書類を提出してください。

【申請書類】

(1) 長期履修願

(2) 次に定める申請資格の確認できる書類

区 分	必要書類
職業を有し、就業している者	在職証明書又はそれに代わるもの
育児、介護等の事情を有する者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか
その他、相当の理由があると認められる者	当該事実を証明する書類、または、それを証明する第三者等の申立書等のいずれか

#### 4 可否の認定

申請書類を審査のうえ、許可の可否を決定し、出願者へ通知します。

#### 5 授業料

長期履修制度の申請が認められた場合、徴収する授業料の年額は、長期履修期間に限り、授業料の年額に修業年限に相当する年数を乗じた額を長期履修期間の年数で除した額とします。納付する授業料総額は基本的に正規の金額（3年間分）に等しくなります。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることとなります。

#### 6 期間短縮申請

長期履修を認められた者が、入学後、当該履修期間短縮を希望する場合には、本研究科が定める期間において長期履修短縮申請書を提出し、期間を短縮することができます。

また、修了の期間の短縮は、年度途中でも可能です。

#### 7 注意事項

- (1) 長期履修制度を希望する者は、志望分野の教授に必ず事前に相談し、了承を得てください
- (2) 博士後期課程の在学年限は6年です。長期履修を認められた者も在学年限は6年となります。
- (3) 申請をした者は必ず長期履修が承認されるということではありません。

## [11] その他

### 1 個人情報の取扱いについて

大阪公立大学では、個人情報の保護に関する法律及び公立大学法人大阪における個人情報の取扱い及び管理に関する規程に基づき、情報の収集は最小限に努めるとともに、その情報については法令等に沿い、適切な利用、管理をいたします。

#### (1) 個人情報の定義

本学が入学者選抜に用いた、氏名、住所、電話番号、受験番号、メールアドレス、生年月日、成績、配慮を行う上での健康情報、その他の当該個人を識別できるもの（当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む）を指します。

#### (2) 個人情報の利用

- ・ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続のほか、追跡調査等入試の改善に関する調査・研究、志望動向の調査・分析、入学後の学生生活支援関係業務（奨学金・授業料関係、学生生活相談、健康管理）、並びに教育改善等のFD※1活動、大学運営改善等に向けたIR※2に利用します。

(入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。)

- ・ 本学における学術研究目的で利用します。ただし、個人が特定される形でその成果を公表することはありません。
- ・ データの電子化、電算処理、分析・統計、印刷、製本等を外部に委託する場合があります。本学から業務委託を受けた業者に個人情報の全部又は一部を提供する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

※1 FD: Faculty Development の略、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組  
例) 授業方法についての研究会や新任教員のための研修会等

※2 IR: Institutional Research の略、大学の経営改善や学生支援、教育の質向上のため、学内データを  
収集・分析し、改善施策を立案、施策の実行・検証を行う活動

## 2 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

### (1) 提供期間

第1次募集	第2次募集
2026年11月5日(木) 10:00～ 2026年11月27日(金) 15:00	2027年5月7日(金) 10:00～ 2027年6月4日(金) 15:00

### (2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

### (3) 提供方法

下記 URL よりポータルサイトにログインし、確認してください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/score/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/score/)



3 出願書類に虚偽があった場合又は入学者選抜において不正行為をしたことが判明した場合は、入学手続完了後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

4 修了(卒業)見込み又は学位を取得(授与される)見込みで出願し、入学手続を完了した者が2027年3月31日までに修了(卒業)できなかった又は学位を取得できなかった(授与されなかった)場合は、入学許可を取り消します。

5 出願資格認定による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

6 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規定を定め、物品の輸出及び技術の提供について、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。また、必要に応じて書類の提出を求めることがありますので、留意してください。

7 希望者には大阪公立大学看護学研究科における過去2年間の入試問題を配付します。また、送付希望者に対して郵送(ただし、送料は送付希望者負担)も行っています。

希望者は、大阪公立大学入試情報サイト「過去問題(参考問題)の入手方法等」より、Web上で必要情報を入力の上、ご請求ください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/g\\_s\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs/)

※博士前期課程特別選抜については、過去問題配付の対象外となります。

## 〔12〕 出願資格審査

〔2〕 出願資格(7)から(9)に該当する者が対象です。

### 1 出願資格審査の申請について

必ず看護学研究科学務課事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）へ事前連絡をし、出願資格審査申請書（本学所定の様式）を本学 Web サイトからダウンロードし、A4 サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。

[https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam\\_info/graduate/g\\_s\\_nurs/](https://www.omu.ac.jp/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_nurs/)

注1 旧姓(名)の証明書等を使用する場合は、姓(名)の変更が確認できる公的書類を併せて提出してください。

※原本（コピー不可）

注2 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学等)の証明のある翻訳文を併せて提出してください。個人の署名や印では認めません。※原本（コピー不可）

注3 提出書類は、原則として返却しません。

### ① 〔2〕 出願資格(7)により出願しようとする者

以下の期日までに看護学研究科学務課事務室(阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟)まで問い合わせてください。

第1次募集	第2次募集
2026年6月5日(金)	2026年10月2日(金)

### ② 〔2〕 出願資格(8)により出願しようとする者

資格審査対象者は、次のとおりです。

大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身大学・学部の成績証明書	学長又は学部長が発行したもの ※原本（コピー不可）
3	研究期間証明書	大学長等、研究科長が作成したもの
4	研究業績調書	本学所定の様式を用い、学術論文、著書、研究発表、特許などのほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について200字程度で記載してください。
5	論文	既に査読のある学術雑誌に発表した筆頭論文(原著)
6	結果通知用封筒	返信用封筒(長形3号23.5cm×12cm)に460円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金350円と定形郵便110円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

### ③ 〔2〕 出願資格(9)により出願しようとする者

資格審査対象者は、次のとおりです。

看護系の短期大学、専修学校等を卒業又は修了した後、次の年数以上(2027年3月までの見込みを含む)、

実務経験を有する者です。

ただし、実務経験とは、保健師、助産師又は看護師のいずれかの免許を取得のうえ、看護職として携わった業務に関する経験をいうものとします。

2年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 5年以上

3年課程の看護系の短期大学又は専修学校等の卒業・修了者 4年以上

1	出願資格審査申請書	本学所定の様式
2	出身大学(看護系)の卒業・修了証明書	学校長が発行したもの ※原本(コピー不可)
3	出身大学(看護系)の成績証明書	学校長が作成したもの ※原本(コピー不可)
4	出身大学(看護系)の規定等	外国の教育課程を卒業した場合のみ提出 学則又はこれに相当するもの(コピー可)
5	保健師、助産師、看護師免許(写し)	免許を有する者は、免許証の写しを提出してください。
6	在職期間証明書	実務経験を有することの所属長等の証明書 (様式任意、在職期間及び職種の記載要)
7	研究業績調書	本学所定の様式を用い、学術論文、著書、研究発表、特許などのほか、教育、実務、国際的活動における特異な実績等を各実績について200字程度で記載してください。
8	論文	既に査読のある学術雑誌に発表した筆頭論文(原著)
9	結果通知用封筒	返信用封筒(長形3号23.5cm×12cm)に460円分(※)の切手を貼り、送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。なお、氏名には必ず「様」をつけてください。 ※簡易書留料金350円と定形郵便110円分。郵便料金が改定された場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

## 2 受付期間等

第1次募集	第2次募集
2026年6月22日(月)～ 2026年6月26日(金)必着	2026年10月26日(月)～ 2026年10月30日(金)必着

(注) 簡易書留・受付期間内必着で郵送してください。

送付先

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号

大阪公立大学 阿倍野キャンパス看護学部学舎B棟 看護学研究科学務課事務室

Tel 06-6645-3511

(注) 封筒の表には「看護学研究科博士後期課程出願資格審査書類在中」と「赤色」で書いてください。

## 3 審査の結果

申請書類により審査し、出願書類提出期間最終日の1週間前までに郵送で通知します。

なお、2027年度本研究科入学者選抜に限り有効です。

# 看護学研究科博士後期課程の概要

## 1. 教育理念

生命と人権の尊重を基盤とし、保健医療福祉および社会の諸変化に対して人々のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を志向した創造的・豊かな実践や研究をけん引できる実践者、研究者、教育者を育成し、看護学および地域の発展と国際社会に貢献します。

## 2. 教育目的・目標

豊かな学識を有し、看護学を含む保健医療福祉分野において学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目的とします。

## 3. 教育課程

保健・医療・福祉における研究を科学的な視点から自立して推進し、グローバルに発信するとともに、看護におけるエビデンスを構築し、その社会実装をめざす人材を養成するために必要な科目を3領域20分野に配置します。

各分野の特色は次に示す通りです。

分野	概要
看護技術学	看護技術に関する国内外の文献レビューを通して看護技術開発に関する研究テーマを明確にし、経験知や看護技術実践の構造化、看護技術評価の開発、看護技術教育の開発に関する課題を探究する。学生の学習ニーズを大切にし、学位取得にふさわしいエビデンスレベルの博士論文が作成できるよう支援する。
看護情報学	看護現象を科学的に解明し、複雑化する健康課題を解決する高度な能力を培う。具体的には、看護データサイエンス、ヘルスコミュニケーション、Evidence-Based Practice等を通じ、看護実践の革新に資する研究を実施する。我が国の看護情報学を牽引する研究能力と高い倫理観を備えた、自立した研究者・教育者の育成を目指す。
看護管理学	看護管理の諸課題を対象として、人々の健康を支える看護活動を持続的に推進する体制の構築に寄与する知の創出を探究する。看護の提供をマネジメントする場における事象を学際的・国際的知見に基づき論理的かつ体系的に分析し説明する能力を修得する。さらに、質の高い看護の提供に資する看護管理実践に向けて、新たな理論を構築し社会実装する高度な研究遂行力を養う。
看護教育学	看護専門職の発達や育成に関わる要素を探索するとともに、看護教育学に関する諸理論や知識の体系化、ならびに方法論への理解を深め、自立して研究活動を遂行できる能力の涵養を図る。学際的な文献クリティークやディスカッションを通して研究課題を発展させ、学術的意義と妥当性を備えた独創性および新規性に富む研究に取り組み、教育科学の発展に寄与することを目指す。
健康基礎科学	基礎研究：腫瘍抑制遺伝子および腫瘍血管新生阻害による癌治療あるいは動脈硬化・血管石灰化の治療法の確立を目指したより発展的な研究を遺伝子改変マウスを用いて行う。 臨床研究 1：糖尿病、慢性腎臓病および老年病の発症・進展における血管石灰化の臨床的意義について主に疫学的研究を行う。

分野	概要
	臨床研究 2：ワクチンの有効性・安全性ならびに接種忌避について疫学的研究を行う。
急性看護学	クリティカルケア看護実践における新たな看護支援方法の開発と、その理論化・検証・実装化を推進することを目指す。医療制度改革などの社会的・医療的環境の変化を踏まえ、クリティカルケア領域における新たな看護ニーズを的確に捉え、それに応じた支援方法の創出に取り組む。また、看護の開発過程では看護研究方法論の発展も視野に入れ、実践を科学的に裏づける厳密な方法で検証を行う。さらに、研究成果を理論として体系化することで、看護実践の高度化と看護学の進化に寄与する。
がん包括ケア科学	がん看護学と急性期看護学における、看護ケアおよび看護管理に関する課題を理論的・実証的に分析し、学問と実践の往還を通じて研究を発展させる。特に、がん看護学と急性期看護学が抱える今日的課題——〈がんサバイバーの自立支援、先進治療に伴う倫理的諸問題、がん看護や救急・集中治療の場における看護師の役割や人材育成、多様な臨床現場に従事する看護師集団の働き方〉——に取り組む。これらの課題解決に向けて、ケアシステムや看護実践モデルの開発研究を行い、新たな臨床看護学の創生を目指す。
慢性看護学	急性期から終末期に至る様々な局面における患者とその家族の身体・心理・社会的ならびに倫理的課題など、複雑な課題を有する慢性疾患患者を包括的に捉え、病を抱えながらもその人らしく生きることを支える看護について、医療の現状を踏まえ、国際的、文化的視点を持ち、多角的に探究する。そして、その課題解決のために学際的視野をもちながら実装化に向けた研究を行うことで、臨床における慢性看護学の知の創生を目指す。
感染看護学	臨床における新たな感染防止技術の開発につながる研究や新興・再興感染症への対応に係る課題解決に資する研究に取り組む。また、感染症患者および易感染患者に対するケアの質向上に寄与するエビデンスの創出を通じて、感染看護の学術的発展に資することを目指す。
精神看護学	精神保健医療福祉の現場が抱える課題を看護の視点から捉え、主たる対象である当事者や家族の生活過程における現象の理解や、対象の生活の質向上に貢献する独創的な看護介入方法の開発などに関する研究を行う。
小児看護学	現代家族の変容を視野に入れ、子どもとその家族が抱える発達や健康に関する課題の解決に向けて、実践的看護支援の構築につながる方法を探求し、支援の体系化を図る。事象の詳細を追究し、学際的に研究を推進する中で、小児看護学分野における新たな知見を創出し、社会の変化に対応できる独自性豊かな研究成果を産出する。
子ども・家族ケア科学	小児看護学および家族看護学の発展に寄与することを基本理念とする。子どもの健やかな成長・発達を保障し、子どもと子どもをもつ家族の健康と幸福を実現するための支援方法を探求する。研究を遂行するプロセスを通じて、小児看護学・家族看護学の研究や実践に必要な独創性・創造性を養う。
家族看護学	家族をシステムとして捉え、家族を対象とした看護実践の質向上に資する研究開発に重点をおき、理論構築や介入プログラムの開発・評価、エビデンス創出を通じて、多様化する家族の健康課題に応える新たな知見を創出し、臨床・地域・政策に還元できる研究者・教育者の育成を目指す。
母性看護・助産学	マタニティサイクルにおける母子・家族の健康維持とセクシュアル／リプロダクティブヘルス・ライツを基盤に、理論、概念、方法論について探求し、看護支援の体系化を促進する。学際的アプローチを取り入れ、医療・福祉・社会科学など多領域との連携を通じて、研究成果の社会実装と母子保健の課題解決に資する知見の創出を目指す。
ウイメンズヘルスケア科学	女性の生涯にわたる健康を保持・増進するケアを学際的・科学的に検証し、実社会に還元する方法を探求する。さらに、ウイメンズヘルスケアの新しい知見とその価値に

分野	概要
	ついて研究プロセスを通して明らかにし、高い倫理観と創造性を持ち看護実践を変革し、発信できる研究者・実践者の育成を目指す。
老年看護学	老年看護学の学術的発展と社会的価値創出を担う研究者の育成を目的とし、獨創性・創造性に基づく研究の深化と社会実装を目指す。高齢者の生活・健康・ケアシステムに関わる複雑な現象を理論的分析し、国際的視野をもって新たな知を創出する能力を涵養する。研究成果を政策・教育・実践へ応用可能な形で提示し、科学性と倫理性を備えたリーダーとして、老年看護学の発展に寄与し得る人材を育成する。
在宅看護学	在宅療養者と家族の生活を総合的に捉えるアセスメント能力と、ケアマネジメントの理論・方法論、専門的看護実践の技法を体系的に修得する。また、地域の生活文化に根ざした看護の探究や、療養移行支援、在宅ケアシステムの構築、ケアの質評価、教育、連携・調整、経営管理に関する知識と実践力を深化させる。これらの課題に対し、実証的研究を通して高度実践者としての基盤を形成する。
地域包括ケア科学	地域包括ケアに関するエビデンスを系統的に蓄積し、持続可能で有効な地域包括ケアの方策を深く追究する。特に、療養者、虚弱な高齢者などケアニーズの高い人々の生活の質の向上と機能低下予防を目指す地域包括ケアシステムの発展を促進する実装的な研究を展開する。
地域看護学	地域看護学/公衆衛生看護学に有益な技術や方法論、資源の開発等を探究し、個人・家族、集団、地域を対象としたエビデンスに基づく実践と学問体系の発展に貢献できる研究者・実践者を育成する。また、博士論文作成を通して、地域看護実践に寄与できる新たな知を創造することを目指す。
ヘルスプロモーションケア科学	公衆衛生看護学の関連分野における課題解決のための革新的な方策の開発等に資する学問の発展に寄与し、かつグローバルに活躍できる教育研究者を育成する。少子高齢化および国際化に伴い激動する社会の健康課題を、自由な発想と科学的根拠に基づいて課題解決できる研究能力を養う。特に、グローバルに活躍できる教育研究者としての能力を開発するために、フィンランドのヘルシンキ大学およびオウル応用科学大学との Web 交流を通じて探求する。

## 4. 修業年数及び学位

- 1) 修業年数 3年
- 2) 学位 博士(看護学)  
Doctor of Philosophy (Nursing Science)

## 5. 修了要件

修了に当たっては、15 単位（必修 10 単位、選択 5 単位）以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

単位の内訳は、大学院共通教育科目から必修 1 単位ならびに専門科目のうち専門基礎科目の必修 1 単位および「看護科学特別研究 1」「看護科学特別研究 2」「看護科学特別研究 3」（計 8 単位）、さらに専門科目のうち専門基礎科目から選択 1 単位および自身が所属する分野の授業科目から選択 4 単位とする。

**※本研究科は大学院設置基準第 14 条特例により、社会人学生に合わせて時間割上の配慮をしています。**

## 6. 在学年限

博士後期課程の修業年数は3年です。3年間で所定の単位を修得できない場合は在学期間を延長することはできますが、通算6年を超えることはできません。長期履修制度を適用する場合も在学年限は通算6年を超えることはできません。

## 看護学研究科博士後期課程 担当教員一覧・問合せ先

※[at] は@で置き換えてください。

領域	分野	担当教員	メールアドレス
基礎革新 看護学	看護技術学	土肥 美子	doi.yoshiko[at]omu.ac.jp
	看護情報学	森本 明子	morimoto[at]omu.ac.jp
	看護管理学	伊豆上 智子	izugami[at]omu.ac.jp
	看護教育学	細田 泰子	hosoday[at]omu.ac.jp
	健康基礎科学	伊藤 一弥	kazuya-ito[at]omu.ac.jp
臨床革新 看護学	急性看護学	北村 愛子	a-kitamura[at]omu.ac.jp
	がん包括ケア科学	作田 裕美	sakuda[at]omu.ac.jp
	慢性看護学	中尾 友美	t-nakao[at]omu.ac.jp
	感染看護学	佐藤 淑子	ysato[at]omu.ac.jp
	精神看護学	富川 順子 松田 光信	jtomikawa[at]omu.ac.jp mmatsuda[at]omu.ac.jp
	小児看護学	仁尾 かおり	k-nio[at]omu.ac.jp
	子ども・家族ケア科学	平谷 優子	hiratani.yuko[at]omu.ac.jp
	家族看護学	中山 美由紀	miyuki.nakayama[at]omu.ac.jp
	母性看護・助産学	渡邊 香織	kaori[at]omu.ac.jp
	ウイメンズヘルスケア科学	玉上 麻美	tamaue.mami[at]omu.ac.jp
地域革新 看護学	老年看護学	長畑 多代	tayon[at]omu.ac.jp
	在宅看護学	三輪 恭子	kmiwa[at]omu.ac.jp
	地域包括ケア科学	河野 あゆみ	ayukono[at]omu.ac.jp
	地域看護学	都筑 千景	tsuzuki[at]omu.ac.jp
	ヘルスプロモーションケア科学	横山 美江	yyokoyama[at]omu.ac.jp

# 本学所定様式

### 〈願書等の記入要領〉

- (1) 受験番号欄等の※印の欄には記入しない。
- (2) 手書きの場合は、黒のボールペンを使用し、はっきりと記入する（消せるボールペンは使用しないこと）。
- (3) 願書等の記入欄には、該当事項を記載する。また、選択する事項については、該当する項目を「○」で囲むか、チェックボックスにチェックを入れる。
- (4) 連絡先の電話番号は日中連絡の取れる番号を記載する。
- (5) 誤って記入した場合は、該当箇所を二重線で消し、正しい内容を記入すること。
- (6) 写真票は、志望する分野、名前（フリガナ）及び生年月日を記載し、写真を貼付する。
- (7) 年号の記載欄は全て西暦で記載する。

※出願に当たっては、各様式の欄外に記載されている注釈もよく読み、記載漏れ・記載誤り・書類の添付漏れ等がないよう十分注意してください。

※申請書類・出願書類は、特記事項がない限り全て原本を提出してください。

### 記載例（願書の履歴欄）

学 歴 <small>（高等学校等卒業から記入してください）</small>		
2008年 3月	●●高等学校	卒業
2008年 4月	▲▲大学経済学部経済学科	入学 編入学
2012年 3月	▲▲大学経済学部経済学科	卒業（見込） 退学
2013年 4月	××大学看護学部看護学科 2年次編入	入学 編入学
2016年 3月	××大学看護学部看護学科	卒業（見込） 退学
2019年 4月	■●専門学校保健科	入学 編入学
2020年 3月	■●専門学校保健科	卒業（見込） 退学
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

職 歴			
2016年 4月	●●病院 看護師	入職 退職 異動	
2017年 4月	●●病院 看護師（主任）	入職 退職 異動	昇任
2018年 3月	●●病院 看護師（主任）	入職 退職 異動	
2018年 4月	▲▲クリニック（非常勤看護師）	入職 退職 異動	
2020年 4月	■●保健センター（非常勤保健師）	入職 退職 異動	兼業
2022年 3月	▲▲クリニック（非常勤看護師）	入職 退職 異動	
2022年 4月	××大学看護学部 非常勤講師	入職 退職 異動	任用
2024年 6月	◆◆市 ○○審査会委員	入職 退職 異動	受嘱
2025年 3月	■●保健センター（非常勤保健師）	入職 退職 異動	
年 月	現在に至る	入職 退職 異動	
年 月		入職 退職 異動	
年 月		入職 退職 異動	
年 月		入職 退職 異動	
年 月		入職 退職 異動	

（注1） 手書きの場合は、黒のボールペンを使用し、はっきりと記入すること（消せるボールペンは不可）。

（注2） 学歴については、高等学校卒業から記載すること。

（注3） 年号は西暦で記載すること。

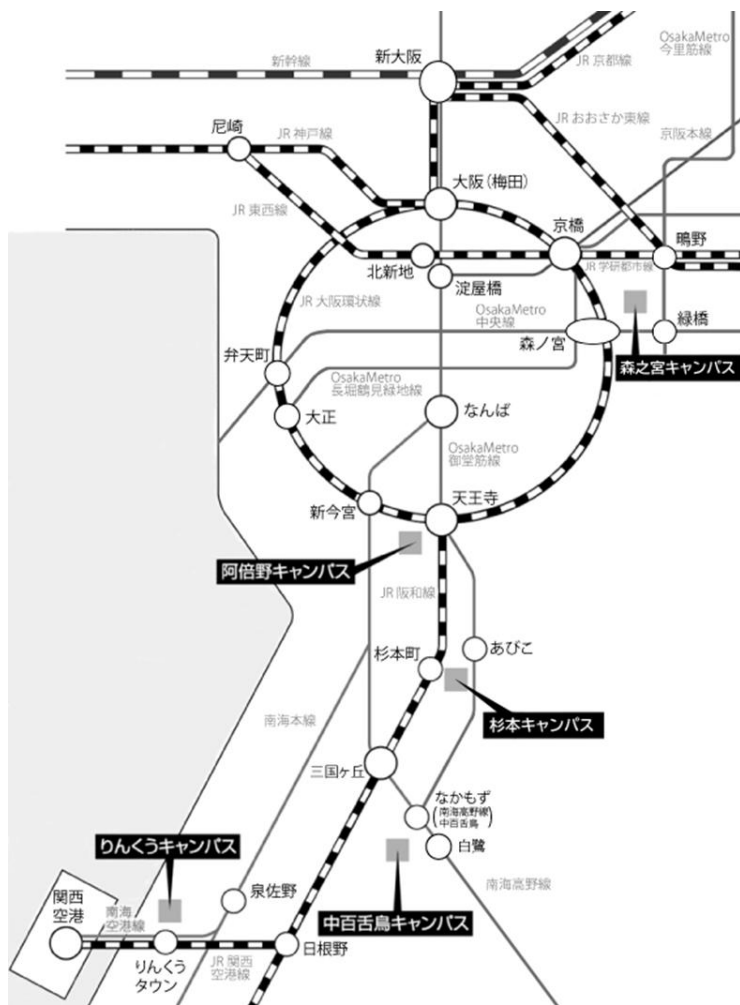
（注4） 願書の欄が足りない場合は、本様式をコピーし、複数枚を使って記載すること。

出願書類チェック表

博士前期課程 出願書類等		チェック欄	博士後期課程 出願書類等		チェック欄
1	出願確認票 (大学提出用)		1	出願確認票 (大学提出用)	
2	入学願書		2	入学願書	
3	事前面談確認書		3	事前面談確認書	
4	写真票		4	写真票	
5	大学の卒業 (見込) 証明書 又は学位授与 (申請受理) 証明書 又は出願資格通知書 (出願資格を証明する書類)		5	修士課程又は専門職学位課程 修了 (見込) 証明書 又は出願資格通知書 (出願資格を証明する書類)	
6	成績証明書 (学部等) ※ 看護系の短期大学、専修学校等卒業者は 当該証明書も含む。 ※ 編入学で大学に入学した場合は、以前に 在籍していた学校の成績証明書も含む。		6	大学院成績証明書	
7	姓 (名) の変更が確認できる公的書類 【該当者のみ】		7	成績証明書 (学部等) ※ 看護系の短期大学、専修学校等卒業者は 当該証明書も含む。 ※ 編入学で大学に入学した場合は、以前に 在籍していた学校の成績証明書も含む。	
8	証明書の和訳又は英訳【該当者のみ】		8	姓 (名) の変更が確認できる公的書類 【該当者のみ】	
9	看護師等免許証写し ※ 免許取得見込者は免許取得後に登録 済申請書を提出 【助産師資格取得プログラム、保健師資 格取得プログラムならびに社会人特別選 抜のみ】		9	証明書の和訳又は英訳【該当者のみ】	
10	在職期間証明書 【社会人特別選抜のみ】		10	修士論文・課題研究報告書等の要旨 4部 ※ 修士の学位を取得見込みの者は修士論 文・課題研究報告書の経過報告を含む要 旨を 4部	
11	志望する領域に関する実績 【社会人特別選抜のみ】		11	研究業績調書 4部	
12	志望理由書【学部特別選抜のみ】		12	博士後期課程における研究計画書 4部	
13	研究課題書【社会人特別選抜及び学部特 別選抜のみ】				

- ・ 出願書類等は、上表のチェック欄でチェックのうえ、1～13の順に重ねて郵送してください。
- ・ 出願資格審査を受けられた方は、出願資格審査申請書類と重複する書類を、出願書類から省略することができます。

## 交通アクセス



### ■阿倍野キャンパス



- ・JR・Osaka Metro「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩約10分

### ■杉本キャンパス



- ・JR 阪和線「杉本町駅」下車、東口からすぐ
- ・Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

## 問合せ先

### ■出願書類・専攻・分野・受験科目・過去問題等

大阪公立大学大学院看護学研究科事務室（阿倍野キャンパス看護学部学舎C棟）

TEL：06-6645-9012

月～金曜日（祝日及び休業日を除く）9：00～17：00（12：00～12：45を除く）

### ■インターネット出願登録・入学検定料

大阪公立大学 入試課（杉本キャンパス）

TEL:06-6605-2141

月～金曜日（祝日及び休業日を除く）9：00～17：00（12：00～12：45を除く）

E-mail:gr-nyu-gss [at] omu.ac.jp

（必ず志願する研究科名・課程・選抜名・氏名を記載してください。）